

第 3 回茅野市新地域公共交通検討会議

開 催 日 時	令和 2 年 8 月 24 日 (月) 午後 7 時から午後 8 時 40 分まで		
開 催 場 所	茅野市役所 8 階大会議室		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍 聴 者 の 数	8 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容 (概要)		
事務局	<p>第 3 回 茅野市新地域公共交通検討会議を開催。詳細は下記のとおりです。</p> <p>1 開会 これより第 3 回の会議を開催します。</p>		
会長	<p>2 会長あいさつ みなさんこんばんは。上田でクラスターが発生したそのような時期であります。みなさんには大変お忙しい中でこのような大勢の方にお集まりいただき、本当にありがとうございます。このコロナウイルス禍で一つだけ確実なことがあります、これから世界中が不景気になります。一番はこの茅野市の税収が落ちてなかなか市民サービスができない、そのような状況があるかなと思います。その中で、この地域交通でありますけれど、私の存じ上げている 2 人の市長さん、その頃から課題だったという風に思いますけれども、昨年新しく市長さんになられた今井市長さんは、16 年の経験を踏まえてこの問題に果敢に挑戦されているわけがあります。私もこの場に立たせていただくまで、あの 2 人か 3 人しか乗っていないバスに、まさか税金が使われているとは思ってもみませんでした。19 路線あるなかに 8,000 万弱の血税が投入されながら十分なサービスが行われていないのが現状であります。そんな中で、新しい MaaS を実行するという事で、皆さんにご参加いただいて、実際に行うかどうか、そして、そこからどうしていくのかをお決めになるのは、市議会議員の皆さんでございます。私たちの責任ではありません。ここにお集まりいただいた皆さんは今井市長が進めるこの計画に知恵と工夫をぜひお寄せいただいて、この AI オンデマンドシステム、日本のどこでも作っていないシステムでありますけれど、これをいかに利用するか。そんなことにお力を頂戴したいわけでありまして。そして、この会場にお集まりいただいて、前回 2 回までの間に、いろいろな条件を照らし合わせてまいりましたけれども、ここから先は大勢の皆さんのご意見をいただかなければならない。そんなことでグループ分けをさせていただきました。私の方から一人一人指名をさせていただくのでは、せっかくこれだけの皆さんにお集まりいただいているのに、とても皆さんの十分なお意見をうかがえません。各課長さんが司会になって皆さんの意見を取りまとめ、その中でこの新しい誰もやってこなかったシステムを創るために、ぜひ皆さんのご意見を伺いたいということで、こうしてグループ分けさせていただきました。これから課長からもご紹介いたしますけれども、新しいメンバーの方に加わっていただくことになりました。今までこの茅野市はいろいろなパートナーシップのまちづくりを進めてまいりましたが、例えばですが、利用する高校生には CHUKO らんどチノチノができたとき</p>		

<p>会長</p>	<p>には、非常に画期的なアイデアが基にできたわけであります。実際に使う高校生の意見を聞いていく必要があるかと思ひますし、これから皆さんのご意見だけでなく、大勢の方のご意見を伺って、いいシステムにしまいりたいなという風に考へておひます。ぜひそんなことで、皆さんのお知恵を拝借したいと思ひておひますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>3 案件</p> <p>(1) 実証運行について</p> <p>それでは案件(1)実証運行について、事務局から説明をお願ひします。</p>
<p>事務局</p>	<p>・第2回会議の中で、実証運行を行うエリアを示し、運行体制についてもご理解をいただいたと思ひます。この1か月の中では、エリアの細部の確定や利用料の設定、配車ローテーション、運行形態などについて運行事業者と協議を重ねてきた。まだ協議は整っていないが、引き続き行っていく。会議の中でご提案のあった案件では、ピアみどりさんへの駐輪場、待合所設置については、JAさんと検討し、設置場所について選定を行っている。調整する課題は多いが、進捗状況についてはお示ししていく。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまの事務局の説明について、ご意見、ご質問がありましたらお願ひします。</p>
<p>会長</p>	<p>(2) 実証運行の周知広報戦略、参加促進等の取組について</p> <p>次に、案件(2)実証運行の周知広報戦略、参加促進等の取組について、事務局から説明をお願ひします。</p>
<p>事務局</p>	<p>・実証運行の市民周知、広報方法、参加促進、利用料について、今回はGW形式で皆さんでご検討いただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>(3) その他</p> <p>案件は以上になりますが、何かあればお願ひします。</p>
<p>Aグループ</p>	<p>それではAグループから発表させていただきます。まずピアみどりから茅野駅間はだいたい300円くらい。市役所からオギノは平均すると300円くらい。市役所からステーションパークは、平均しますと500円くらい。河原の湯から茅野駅は1,000円くらい。そんな感覚で設定しております。方法・手法についてですが、例に書いてあるものはすべてやった方が良さだろうという中で、やはりポスターは大事です。駅や中央病院、そういうところにポスターの掲示は必要ではないか。そして、広報。DMを各家庭に届ける形で、また、CMのような動画をビーナチャンネル等でスマホを使って車を呼べてというイメージを案内するということも有効ではないかというところと、あとは説明会も必要です。それと集まってもらおうというよりも広報して説明して歩くことも必要ではないかと出ております。さらに、案内する場所、案内所みたいなものも必要ではないかということ、それから、お孫さん等家族の方々からお年寄りにアプローチしてもらおうようなものが作ればと思ひます。あとは、リピー</p>

ターになってもらうという部分では、いろいろなマイレージサービスの
ようなもの。何回乗ったら 1 回無料にするとか、回数に応じたセットを
付けていくとか、定期券のような割引制度があったら良いのではないか。
そのような意見が出ております。以上です。

Bグループ

Bグループです。最初に料金価格ですが、まずバスについては 0 円から
最高 500 円までの間がありました。そうするとおよそ 200 円という意見
がありました。続いてタクシーです。こちらは、一律タクシーはいくら
と決めた方が良いということで、金額的には 200 円から 500 円まで出ま
した。多いのは 300 円くらい。なので、バスはいくら、タクシーはいく
らという風に固定料金の方が良いだろうという結論になりました。それ
から、知ってもらうためにです。まず、マスコミを利用する。テレビ C
M、広告動画も作成する。有線放送、LCV、マスコミ使う。それから御
用聞き、こちらから出かけていく。チラシを各戸配る地元説明会、駅前
でのチラシ配布をする。それからまるごと広報特集。これは、これだけ
のために広報一冊を使う。もしくは高校生に任せて作ってもらう。こん
なところが知ってもらうためにです。次に、使ってもらうために。こち
らも PR、説明会、観光客、高校、地元の企業、アプリの説明会等々、使
える説明会は全部 PR に使っていきます。それから、使ってもらうため
には。なんととってもお得感。使った方にはプレゼント、割引券、それか
らスマホの無料貸し出し。これについてはスマホ買い替えのキャリア等
とタイアップすれば、キャリアの方もこれはいいぞと乗ってきてくれる。
そしてスマホの取り扱いについての説明までしてもらえないのではないか
ということで、キャリアとタイアップ等が出ました。リピーターになっ
てもらうために。こちらは、得々、使えば使っただけさらにお得に、ポイ
ントですとか無料サービスキャンペーン等でさらにお得。それからやは
り広報。マスコミの利用。口コミの利用。あと、リピーターになってもら
うために、時間枠も夕方や夜の時間も使えるように拡大していくことも
考えていく。すべてに共通するということで、どなたか高校生、中高
生の未来のテーマを自分たちで WS して自分たちで考えていってもら
う。高校生にも発信していってもらう。チノチノの皆さん等、サンプル
で大人の方にモニターになっていただきタイアップしていく。そして、
お客様窓口で何でも相談ができる。こんなところをやっていくといいの
かなというのが出ました。以上です。

Cグループ

それでは C グループでございます。まず利用料の価格の関係ですけれど
も、2 次交通のバスの関係ですが、だいたい平均すると 300 円くらいと
いうことになっております。3 次交通ですけれども、やはりその距離別、
距離が長くなっていくごとに金額の方も高くなっていくという考え方
の中で、2 番目につきましては 500 円、3 番目につきましては 700 円、4 番
目につきましては 1,500 円というような平均の値が出ております。知っ
てもらうためにということでございますが、出た意見につきましては、
やはりその若者・高齢者向け、そういう方への説明会、あとはその地元
の区や、関係者の方への説明会というものはいるのではないかというこ
とがあります。それだけではなくて、各イベントへの周知。ハブになり
ますピアみどりさんへの掲示も大々的に行っていくというようなご意見
も出ました。あとは私の意見ということで 3 つですが、まず、高校への

ポスター掲示。もう一つが、JRさんやバス会社さん、タクシー会社さんの車輛ラッピングです。お金のことは度外視しまして、そういうことも効果があるのではないかと思います。あと一つは、運転される方のユニフォーム。そちらの方も変えていければ面白いのではないかと思います。視覚に訴えるということも大事だと思いますので、そのような意見が出ております。使ってもらうためにということですが、体験の無料キャンペーン。電話のオペレーションセンターを設置するという。やはりスマホをつかえない方、持っていらっしやらない方がいらっしやるので、そういうことを考えていったらどうか。もう一つですが、先ほどもスマホの貸し出しといった意見もありましたけれど、シルバーフォンということで、スマホより少し簡単な機能で使えると、そういうものの使用体験ですとか、貸し出しといったものを考えてもいいのではないかという意見も出ております。あと、リピーターになってもらうためにということでもありますけれども、そちらにつきましてはリーズナブルな料金、あとは待ち時間の均一化ということで、あまりお待ちいただくといったことになると、信頼性の低下にもつながっていきますので、待ち時間の均一化のルールを作っていけばいいのではないかという風な意見が出ています。以上です。

Dグループ

それではDグループお願いします。まず料金ですが、1番のピアみどりにつきましては最大500円最少200円、2番目のオギノですが、最大300円最少50円、後から出てきますが、とにかく安いことが利用につながるのではないかという考え方が多いです。3番目のステーションパークにつきましては最大400円最少100円。4番の河原の湯ですが、最大500円で最少250円。これにつきましては、河原の湯からのデマンドバスが現在500円であるということに基づいて考えていることもございます。あとはそれぞれいろいろな意見がありますが、とにかく安いことが利用につながるのではないかということが意見として出ました。続いて周知広報戦略ですが、SNS等のもの以外に、とにかく高校生に知ってもらう。学校に出向いて説明をするということ。あるいは掲示物につきましては、タクシーのヘッドレストですとか、ワークラボ八ヶ岳からの拡散。あるいは図書館・ベルビアの高校生が集まる場所等のアイデアが出ております。大学のキャンパス等への掲示もいいのではないかということでした。使ってもらうためには、今、高校生、若い子たちのアイデアもありましたけれど、今度は高齢者に目を向けて、お孫さんからおじいちゃんおばあちゃんを誘っていただくとか、高齢者クラブ等でのご案内等もしたらどうかということもございました。最後にリピーターになってもらうためにですが、やはりポイント制度です。利用者からの情報、口コミ、あるいはお誘い、乗った回数に応じてポイントをためて、そのポイントが寄付できるというようなボランティアのことも考えてみたらどうかというような意見もありました。また、アプリ上に医療限度額に応じたサービス提供、あるいは付加サービス、スタンプラリー等について行うことによってリピーターが増えるのではないかというようなアイデアを頂戴したところでございます。以上です。

Eグループ

それでは続きましてEグループでございます。まず料金でございますが、おおよそ似た金額であります。1番が300円程度です。2番3番4番は距離

に応じてだんだん高くなっていくという感覚です。ただ、料金設定で、タクシーで料金メーターが上がっていくと非常に不安定になってしまうので、3段階程度で、料金は高くてもこのくらいというアッパーを決めてしまった方がよいのではないかという意見がありました。知ってもらうためにでございますが、まず、今までほかのグループで出ているもの、ダブるものは省きます。それ以外で出ているものでは、やはり高校生にデモで乗ってもらって、体験された方の声というのは一番説得力があるのではないかということで、まず高校生からやってみてはどうかということ。また、有名人を使ってキャンペーンをすれば面白いのではないかという意見も出ました。次に使ってもらうためにということですが、定期券の発行ということで、これが2次交通3次交通も一緒に、通して使えると、その都度料金を考えなくて済むのではないかという意見が出ました。また、1人から2人、2人から3人といった連鎖をつくるためにやっていると、高校生は非常に情報伝達が速いので、いい評判がたてばよいのではないかという意見も出ました。また、送迎のお金がいくらかかっているかというところを、実際にお金に算出してみると面白いのではないかという意見も出ました。また、売り出す際に、売り出すことで何が生まれてくるかということをしっかりアピールすることが大事ではないか。お母さんに時間が生まれるとか、そういうものを売りに出すことが使ってもらうための手段ではないかと思います。最後に、リピーターになってもらうためにでございます。ポイント制とか、そういったものが出ていますが、他グループで出ていなかったもので面白いものが、高校生が乗合で恋に目覚めるということを想像して、毎朝楽しくなるというような意見が出ております。また、車両の付加価値を付けるということ。通常のバスではなくて、シートのグレードがアップするとか、いい音楽が流れるとか、車内で朝食が食べられるとか、そういったことも面白いのではないかという意見が出ました。ただ、もうひとつですが、料金が安ければ乗るとするのは当たり前前の発想ですが、根本的に皆さんに「使ってください」というお願いのスタンスなので、安くなければ乗らないという考えになると思います。ですが、そうではなくて本当であればお客さんから「どうか使わせてください」と思わせる、乗らなければ損をするという意識付けができるかと最高ですねという意見が出ました。以上です。

F グループ

Fグループ発表させていただきます。金額ですが、バスの方2次交通は中央値でいうと300円くらいです。3次交通は距離に応じて一番上であれば100円ですとか150円。一番下、長い距離であれば470円や550円。そういう意見が出ましたが、議論の中ではもう少し前提条件を整理したうえで議論していく必要があるのではないかという意見が出ました。たとえば、どれくらいの頻度で来てくれるのかですとか、そういった便利さに応じて払ってもよいと思う金額は変わってくるのではないか。あるいは実際にどれくらい費用としてかかっているのか。支出としてみたときに、そういったものがあるといろいろと判断ができるのではないか。そういう意見が出ておりました。広報周知戦略についてはこれまでもいろいろ出てきましたが、一番に関しましては、PRが大事という中で、メディアを使った戦略というものはもちろん大事ですが、もう少しアナログな方式として、実際に高校生にDMを送ってみるとか、あるいは車

座で説明をしてスマホのアプリのインストールとか、そういったところまでやることでPRに変えられるのではないかと。そういった意見が出ていました。2番の使ってもらうためにということは、スマホも持っていない人向けの話、持っている人向けの話。この2つがあるのではないかと。持っていない人向けですと、そもそもスマホがない中でもできるような仕組み。たとえば電話予約をどうするのかとか、あるいは機材を貸し出してあげようとか、あるいは使える方とペアを組んでみたらいいのではないかとという話も出ていました。すでに持っているという、スタートラインに立っている方であれば、価格の話もそうですし、それでも操作は簡単にワンタッチでできるものが良いですねというものもありましたし、そもそも交通そのものが便利になる、例えばバスに乗るとより渋滞にかからずすいすい進めるとか、バス専用レーンという話も出ました。あるいは、どこにいるかわかればストレスなく待てるのではないかと。という意見が出ました。3番リピーターという意味ですと、例えば安さとかという話を中心でした。特にスマホが使えない層と使える層が分断されないように、両方が使える仕組みが大事だという意見が出ました。国土交通省として一言申し上げたいと思います。今回の茅野市の取組みというのは、国土交通省で日本版MaaS推進支援事業というものがございまして、全国で約40弱の事例を採択している中の1個ということになります。全国で選ばれた中の一つということになっていて、全国としても非常に注目している取組みです。今回このような形で私もWS入らせていただきましたが、やはり新しい移動手段の話というのは、全国でもいろいろ話題になっていますが、こういった新しい試みをどういった形でいろいろな人に知ってもらおうかですとか、スマホを持っていない人はどうするかということは、どこでも話題になっています。国土交通省としましても、一地域の移動手段の課題解決の実証実験を財政的にも支援させていただいて、事例を作っていこうという中の一つが茅野市であるということで、全力で支援してまいりたいと思っておりますのでこれからもよろしく願いいたします。そして、そのためには実証実験がスタートしたらここにいる皆さんには全員一度は乗っていただいて、リピーターになっていただける方はそのまま利用していただいて、もう一度はいいかなという方は、その理由を事務局にしっかりフィードバックしていただくことが大事かと思っております。グループの意見とは分かれてしまいましたが、国土交通省として申し上げたいと思います。以上です。

Gグループ

Gグループです。よろしく願いいたします。まず、利用料ですが、距離によらず一律というご意見もありましたので、ばらけていますが、ピアみどりからにつきましては100円から500円。市役所からオギノは100円から150円。市役所からステーションパークが100円から300円。河原の湯からが100円から700円ということで、最低は100円ですべて同じになっていますが、上限が距離に応じてばらけているような結果となりました。次に周知広報戦略についてですが、まず知ってもらうためにということで、高校生に多く利用していただかなければ、お客さんは増えないのではないかとということがありますので、駅や学校にポスターを張るとか、学校のSNSに載せてもらう。活用例の周知をしっかりと。もう一つですが、1番から3番に共通することですが、高校を通じてバスを学生で満員にするんだというプロジェクトを自分たちで立ち上げて

いただいて、それを可能にするにはどうすればよいかというものを提案してもらえばどうかという意見が出ました。次に使ってもらうためにということで、他のグループでも出ていましたが、ポイントが加算されるとか、一律料金。また、高齢者の問題も出ていますがFAXの申し込みを可能にしていきたい。代理入力でも申し込みできるようにしていきたい。GPS機能を使いまして、簡単な予約ができれば良いですとか、改善するためにアンケートもしていかなければいけないのではないかな。あとは、以前も出ていましたが、ピアみどりや駅のバス停等で、弁当やパンや飲み物等を売るような場所を作る、もしくは場所を使って出店する方からは場所代をいただけるようにすればよいのではないかな。あとは、JRの定期券とパッケージするのもよいのではないかなという意見も出ました。最後に、リピーターになってもらうためにということで、待合所で学習ができるようなスペースの設置ですとか、宅配受取りボックスの設置、割引クーポンがメールでもらえるというのはどうか。バスにラッピングをしたらどうか。スマホ活用ですので、バスの中でスマホの充電ですとか、Wi-Fi環境を整える必要があるのではないかなという意見が出ました。以上です。

事務局

4 その他

次回の会議でございますが、実証運行の進捗状況や周知、広報等についての取組報告、さらにサブフレームの協議に向けた準備段階に移っていきます。

次回開催日については9月中旬以降としますので、ご予約をお願いします。

事務局

6 閉会

地域戦略課長：閉会のごあいさつを、副会長の高木宏明様からお願いいたします。

副会長

長時間にわたり議論いただきありがとうございました。今日議論しながら、自分は果たして乗るのだろうかと考えました。利用者目線でという前提でということでしたが、本当に今日集まった皆さんが使う気があるのかどうか。高校生がこれで喜んで乗ってくれるのだろうかということを真剣に考えていかないと、このプロジェクトはうまくいかないのではないかと悲観的な気持ちになってしまいました。個人的に思うことですが、毎日朝夕のバスが高校生でいっぱいになれば絶対に成功しない。そこからスタートしないと、ご高齢の方、若い人たち、障害のある方、ただし本当に足腰の弱っている方が自由に移動できることを目指すには、この仕組みだけでは足りません。私は福祉21茅野の3代目の会長をさせていただいておりますが、その中でも高齢の方の「足」について考えていて、昨年うちにWGを11グループ作っており、そのうちの1つが外出支援というものでした。そのグループでは福祉21の理念に従って住民主体の自由な形の移動手段・外出支援の仕組みを創ろうということで立ち上がりました。まずは勉強会をやるということで計画を立てていたところで、コロナの影響で止まってしまいましたが、ここで動き始めますので、外出支援に関するWGも動き出す段階に進めばと思っています。そうすれば、ここで検討している公共交通機関の仕組みと、

住民が主体となった外出支援の仕組みが両輪のようにして茅野市に張り巡らされ、そういうネットワークが出来上がるということが、ひょっとすると実現するかもしれない。公共交通機関に関しましては、先ほど申し上げましたように、まずは最初の目標である「高校生でいっぱいにする」ということを設定するべきではないかなと、個人的には思っています。今日はいろいろな意見が出ましたので、整理したいと思います。今後実証実験進むにあたって、高校生でいっぱいにしようと考えると、高校生自身が「これなら乗る」という風に自分たちが考えて企画する、運営する、そして自らがリピーターになる、友達を誘って乗るという仕組みにしなければまずいのではないかと考えていますので、準備は大変でしょうし、それ自体も大変になるかと思いますが、事務局に任せ切りではなく、そういったものも並行して行っていかなければならない。この検討会そのものが、私たちが市民や関係者の立場で形にしていかなければならないというスタンスで今後も知恵を出し合っていければよいと思います。移動の自由についてはそれだけ保障されなければいけないと思いますし、そうならなければ茅野市が本当に活気づいていかないのではないかと思います。本日は大変お疲れ様でした。

以上